



PhillipCapital opens the door to new investment opportunities

# ワンストップ・グローバルアクセス ひとつの口座で世界中に投資する

## アジアの金融センター・シンガポールを現地取材。注目はCFD取引!?

取材協力:フィリップキャピタル(シンガポール)



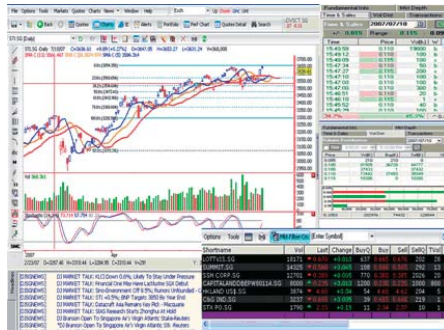
フィリップ・インベスターハブ併設施設にはセミナールームがある。また南国らしく屋上はBBQをしながらガーデンセミナーができる庭園がある。

シンガポール証券取引所 近年全て電子取引化されて立会場はなくなった。アセアン地域の金融のハブとして今後も成長が期待できる。メインエントランスにはブル&ベアが鎮座する。横にいるのは広報担当の廖さん



ではヨーロッパやNYマーケットがあいている夜間に取引が活発になっています。シンガポールやほかのアジア諸国への投資についてアドバイスはありますか？

林 現在はむしろ少しタイミングですね。全世界で下落しているのがマーケットはまだ楽観的ではないです。しかし、長期でみると本来高値であった株が、



POEMS (フィリップキャピタルがシンガポールで提供しているシステム) 世界中の株式・CFD・投資信託・債券・FXが取引できる。マルチカレンシーで口座を管理する。



フィリップ・セキュリティーズ (ディーリングルーム) 本社で世界中の株式・債券・通貨・先物・デリバティブを24時間ディーリングしている。

シンガポールで人気の取引商品は「株・CFD」

シンガポールで人気の取引はなんですか？

林 やはり株式取引ですね。最近では外国株が人気です。銘柄によって取引時間は異なりますが世界中の金融市場で24時間取引が可能であるという点も魅力のひとつでしょうね。次いで人気なのはCFD取引ですね。そ

最後に日本の読者にメッセージをお願いします。

林 世界に住んでいるという認識をもって、非常に有用なツールであるインターネットで世界の情報をいち早く取り入れ取引に役立てることが重要だと思います。現在の状況は、危機ではなく、チャンスとみるべきでしょう。

かつてない安値になっているので良い機会だと思えます。シンガポールは日本にくらべると上場企業の平均PERが10倍と割安感があります。タイやマレーシアなどにも前年比で10%以上成長している企業が多数ありますので、あきらめず良い銘柄を探してほしいですね。また、この状況下でもシンガポールは経済的に成長しつづけているし、投資の対象として魅力的だと思います。

注目はFX、コモディティが続く感じでしょうか。特にCFDについては注目されているので力を入れていきます。

林 日本でも最近CFD取引が目立ってきています。

林 5年前シンガポールでは弊社が最初にCFD取引を始めました。ただ、ロンドンでは、15年前から扱っている歴史のある商品です。シンガポールでは株式CFDの取引が多いですね。日本でも今年中に進出することを考えております。



フィリップ ファイナンシャルズ株式会社 HP <http://www.phillipfinancials.com/> 日本ではFXと海外金融先物取引を扱う。

### 日本のフィリップキャピタル

日本ではフィリップ ファイナンシャルズ (FX・海外金融先物取引)・成瀬証券、フィリップキャピタル リアルエステート (不動産投資)、フィリップキャピタルジャパン (M&A、資金調達など) の4社が展開している。今後はCFD取引なども検討しており、日本でも総合金融サービスを展開している。昨年11月10日にFXを扱うフィリップ ファイナンシャルズは日証金信託銀行と完全金銭信託契約を締結して、顧客資産の保全体制も万全である。

シンガポールのプロローグにアジアワード・ランキングで数度に渡ってトップを受賞したトップブローカーの今後の活躍に期待しよう。

未曾有の金融危機に遭遇している金融市場だが証券口座の開設とFX口座の開設が通常期と比べて2倍以上に増えた。割安感の強い株や外貨を物色するハイゲンセール狙いの投資家がこぞって口座を開設したようだ。プラットフォーム直後の金融市場は閉古鳥が鳴いて投資家不在になった。今回相場が違っているのはインターネットで情報武装した賢明かつ冷静な投資家が多く育っている点である。2009年も多くの混乱が予想される金融市場で活路を見出すには空売りができるFXをはじめデリバティブが効果的だろう。なかでも話題になりつつあるCFD取引は注目だ。すでにデリバティブが普及しているシンガポール現地を取材した。

クレジット・クラッチの影響は？

シンガポールでもクレジット・クラッチ(金融収縮)が進んで株価が暴落しましたが、投資家にもその影響はでていますか？

林 影響は深刻です。昨年の春先と比較してSGXの株価は65%も暴落しました。今年も不透明感が払しょくされていません。では口座開設は減っているのでしょうか？

林 ところが倍増しています。株価を冷静に見ている投資家が多いでしょう。安値を狙って口座開設が増えています。GD

シンガポールのトップブローカー

フィリップキャピタル

米国Eトレッド証券に遅れること9カ月。シンガポールで最初にオンライントレードを始めたブローカーがフィリップキャピタルだ。創業者であり会長の林華銘氏にインタビューした。

シンガポールではトップブローカーとお聞きしました。フィリップキャピタルをご紹介ください。

林 私はSGX(シンガポール証券取引所)のゼネラルマネージャーを勤めたあと1975年

に29歳でSGXを辞職し弊社を起業しました。

フィリップキャピタルの現在の口座数は約40万口座ですがシンガポールの人口が470万人です。約10人に一人は弊社で口座を持つことになりました。弊社はシンガポールを中心にアジア諸国、ヨーロッパなどにグローバルネットワークをもっています。取り扱っている金融商品は株式、債券、通貨、商品先物、株価指数、各種デリバティブ、投資信託、ファンダマネジメント、不動産など多岐にわたっております。また対面営業、コールセンター、オンライントレードの3チャネルで投資家と金融市場をつなぎます。ひとつの口座で世界中の金融市場にアクセスできるのです。



オンライントレーダーの先駆者  
チャンネルニュースアジア(テレビ局)が主催する「フィニッシュ・アワード」でストック・ブローカー・オブ・ザ・イヤーを2度も受賞している。

林 短期・長期投資をバランスよく利用している人が多いようです。また英語の情報をとりいれやすいので、国境を気にせず世界の動きに対してスムーズに対応できるようです。20%前後の人が海外投資をしているといわれています。またインターネットが普及して外国株、通貨を取り扱うよう



PhillipCapital 会長 林 華銘氏

Pについても、マイナス成長の続く先進国の中で、シンガポールは5%。世界的な不況の中でも今年度は1.5%成長と予測されています。

シンガポールの投資家の投資スタンスは？

林 短期・長期投資をバランスよく利用している人が多いようです。また英語の情報をとりいれやすいので、国境を気にせず世界の動きに対してスムーズに対応できるようです。20%前後の人が海外投資をしているといわれています。またインターネットが普及して外国株、通貨を取り扱うよう

フィリップキャピタル本社受付  
フィリップは中国語で、「輝立」。強く正しい評判、評価という意味になる。1975年に設立した金融総合グループ。10カ国でビジネス展開して約2800名の従業員と6億米ドルの株主資本をもつ。

